

令和6年度第1回理事会議事録

議事録作成者：事務局長 松谷昌典

1 日 時：令和6年5月9日（木） 19：00～22：30

2 場 所：公益社団法人日本パワーリフティング協会 本部事務局
〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋98-16

3 出席者（敬称略、順不同）：

【理事】古城資久、伊差川浩之、三浦重則、高井隆義、実島可斉、寺門浩之、
田中彰子、花田祥之、杉本好二、菅生桃子、遠藤健太、福島政幸、
小野琢司、芦崎高志

※理事総数：15名、本日の出席理事14名

※理事の關本正志は都合により欠席

【監事】安原 徹

※監事総数：2名、本日の出席監事1名

※監事の辻恵は都合により欠席

【陪席】二宮正晴（技術委員長）

鈴木 光（アンチ・ドーピング委員長）

佐々木陽一（国際副委員長）

松谷昌典（事務局長）

理事の伊差川浩之、三浦重則、高井隆義、実島可斉、寺門浩之、田中彰子、花田祥之、杉本好二、菅生桃子、遠藤健太、福島政幸、小野琢司、芦崎高志、監事の安原徹は電話会議システムを利用することによりこの会議に出席し、質疑・決議を行った。

4 開 会

定刻、古城資久会長（代表理事）が理事会運営規程により議長となり、電話会議システムにより出席者の音声の伝達がスムーズであり、質疑応答に支障がないこと、及び定足数を充足していることを確認したうえで、本理事会を開催する旨を述べ、議案の審議に入った。

5 議 長 古城資久

6 議 事

第 1 号議案：令和 5 年度事業報告書及び計算書類等(貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書))、事業報告の付属明細書及び計算書類等の付属明細書並びに財産目録の承認

令和 5 年度事業報告及び計算書類等案について議場に諮られた。審議の結果、「令和 5 年度事業報告書及び計算書類等」は出席理事全員一致で承認された。

第 2 号議案：鳥取県パワーリフティング協会設立の承認

鳥取県パワーリフティング協会の設立準備が整い、加盟団体規程第 11 条に基づき、申請された書類一式が議場に諮られた。審議の結果、「鳥取県パワーリフティング協会設立は出席理事全員一致で承認された。なお、代表者の正会員承認は定款に基づき総会議案とする。

第 3 号議案：令和 6 年度功労者等表彰の審査委員会招集決議の件

令和 6 年 6 月 1 日定時社員総会同日に行われる表彰式について、表彰規程に基づき審査委員会の招集が議場に諮られた。審議の結果、審査委員会招集は出席理事全員一致で承認された。

第 4 号議案：国際審判員の国際大会派遣問題について

(1) 国際審判員派遣増加の対策

J P A は国際大会への国際審判派遣が不十分であり、I P F から何度も再考を求められており、体制改善が急務である。昨今の円安もあって、派遣費用を審判自身で負担することや、選手団、J P A が負担することも大変困難な状況であり、現実的な案として、①出場選手が国際審判員を取得し大会運営に協力すること(参画と協働)、②審判派遣の手当を 3 万円から 15 万円へ増額する(インセンティブを創出する)ことが検討された。

(2) 財源確保について

選手登録費を千円増額し、増額分は加盟団体へは配分せず、J P A の収入として国際審判派遣の謝金を賄う算段である。令和 7 年度会費からの実施を目指すため、本年度定時社員総会の議案とすることが議場に諮られた。

(3) J P A 会長レター発出について

選手登録費の変更について、定時社員総会の資料として会長レターを発出することが提案された。全国正会員の理解促進のため、I P F 加盟国としての日本の立ち位置、将来展望とそのコスト対策をまとめる予定である。

審議の結果、(1) 至 (3) について、出席理事全員一致で承認された。

第 5 号議案：事務局提案

(1) 講習会開催に供するクラウドソフトウェア導入について

参加者募集、出席状況の確認、事後のレポート提出等管理等が一元的にできるソフトウェアについて、機能及び価格資料が提示さ

れた。アンチドーピング講習会や審判講習会のほか、今後はガバナンス講習会の受講管理なども控えており、会員数が増加していることから、人手での出席確認は限界が来ている。また、理事会や総会のオンライン実施、大会での役員出退管理にも応用ができるものであった。本件に関しては各社の機能が異なっていることから比較が困難であり随意契約となる。審議の結果、出席理事全員一致で導入すること承認された。

(2) 寄付の本格的な募集について

非営利団体の収入構造は、会費、事業費、補助金助成金、寄付の4つがあるが、JPAは寄付の募集が十分出来ていない。事務作業にあたるボランティア人材が僅少であることから、募集、お礼状作成や領収書発行、寄付者の管理と寄付継続の依頼などの事務遂行が困難であることが挙げられた。この度、これら作業を自動で行うことができるクラウド上の寄付決済プラットフォームがみつきり、寄付チャンネルを開設する提案された。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

第6号議案：令和6年度定時社員総会招集の決定について

①日時：令和6年6月1日（土）14時～17時

②開催場所：ジャパンスポーツオリンピックスクエア 会議室1

③議案：報告事項「事業報告」、決議事項「令和5年度計算書類、および財産目録承認の件」、「正会員の承認の件」、「選手登録費改訂の承認の件」

④開催方法：ハイブリッド参加型バーチャル総会

第7号議案：選手団及び取り扱い旅行社の承認及び追認

(1) 2024年アジアエキップパワー兼2024年アジア大学クラシックパワー選手団追認

令和6年5月5日至11日、香港特別行政区で開催される大会の選手団名簿の提示がなされた。OP選手1名、学生4名、帯同審判員1名とする日本選手団は出席理事全員一致で追認された。

(2) 2024年世界クラシック&エキップベンチプレス選手権大会選手団承認

令和6年5月21日至6月1日、アメリカ合衆国オースティンで開催される世界クラシック&エキップベンチプレス選手権大会の選手団名簿の提示がなされた。選手112名、兼任帯同審判員2名とする日本選手団は出席理事全員一致で承認された。

(3) 取り扱い旅行社について

見積もり料金の説明がなされ、それぞれ旅行価格が安価な2社が提案された。

①2024年アジアエキップパワー兼2024年アジア大学クラシックパワー（エース航空社）

②2024年世界クラシック&エキップベンチプレス選手権大会（中西興産）

審議の結果、出席理事全員一致で、①についての追認が、②についての承認がなされた。

第8号議案：技術委員会提案事項

(1) 対馬大会における審判員服装について

冷房装備のない体育館で行われる夏季の大会であり、服装についてはポロシャツを支給して審判業務を実施することの提案がなされた。審議の結果、服装案について、出席理事全員一致で承認された。

(2) 国際審判員受験資格の緩和について

I P F加盟国の日本の立場改善を狙うもので、国際大会に出場する選手が国際審判員資格を取得しやすくする方法の提案である。国際大会出場3回以上の出場経験及び国内3級審判員資格の保有が満たされれば、国際審判員受験の推薦を与えるものである。なお、国内で審判に着任する場合は国内ライセンス級数での着任とする。審議の結果、緩和策について出席理事全員一致で承認された。

(3) ブロック大会で年齢カテゴリーがない場合の日本記録の取扱い

全てのブロック大会が年齢カテゴリー別で行われておらず、マスターズⅢ以上の選手がブロック大会で日本記録に挑戦する際、2.5kg ピッチでの取り扱いとなる不都合が起こっている。カテゴリー分けが行われていないブロック大会においても、選手自身の年齢カテゴリーに応じて0.5kg 単位での日本記録挑戦を認める提案である。総合順位等の計算は2.5kg 単位で行い、日本記録相当の端数は切り下げて算出するものとする。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

第9号議案：賛助会員の承認について

アポロ管財社より賛助会員への入会申請があり、取扱商品等の資料を含めた入会申込書が提示された。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

第10号議案：対馬大会器具購入の承認について

J K A補助金を受給し、全国各地で確実な公益事業実施を狙うものである。競技会開催器具として2者見積もりの結果、O N I社器具を購入すること議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

第11号議案：「競技者等に関する倫理規程」改訂案について

近年補助金等を受給することが増加しており、倫理規程の禁止事項に「補助金等不正請求」を定め、違反の際には審判員や補助員の処分ができるように改めた。また、処分内容にボランティア業務を加え、一定期間事務局事務作業従事や会場設営従事等をさせて反省を促すものである。審議の結果、「競技者等に関する倫理規程」改訂案は出席理事全員一致で承認された。

第12号議案：国際委員会提案

(1) 牛山恭太氏

① (公財) スポーツ協会アスレティックトレーナー資格の取得に競技

団体の推薦が必要である。牛山氏より受験希望があり競技実績や活動の展望などが説明された。審議の結果、推薦すること出席理事全員一致で承認された。今後、推薦に関する規程を作成するものとする。

②国際大会ユニフォームへの個人スポンサーのロゴ掲出が可能か、問い合わせがなされた。本件、I P Fへ問い合わせをして確認するものとする。

(2) 中村鮎人氏の件

世界選手権等にカメラマンを自費帯同させたく依頼がなされた。また、日本選手団の撮影を無償で行う提案があり、J P Aオフィシャルとしての活動を許可すること議場に諮られた。審議の結果出席理事全員一致で承認された。

その他議案：(1) アンケートについて

登録選手が増加しており、今後の理事会において各種政策決定の資料を得るため、志向調査を実施することが検討された。審議の結果、アンケート調査は出席理事全員一致で承認された。

(2) 仮称グレートゲームズ（新大会）の創設について

選手数の増加がみられ、各大会の盛り上がりも従来以上のものとなりつつある。今後はパワーリフティング・ベンチプレス競技の付加価値と社会的認知度を上げ、スポンサー賛助、補助金、寄付金の増強など社会からの援助の期待できる協会へと進化させなければならない。仮称グレートゲームズを創設、全日本ランキング中の最高挙上重量上位8～14名程度の招待選手から、無差別級で最高挙上重量とフォーミュラ競う提案である。主管協会から回答があり次第、実施に向けて準備を進めるものとする。審議の結果、新大会の創設案は出席理事全員一致で承認された。

7. 報告事項：

(1) アンチドーピング認証を受けていないサプリメントメーカーによるJ P A登録選手への賛助について

アンチドーピング認証を受けていないサプリメントメーカーがJ P A登録選手へ賛助を行っている事例の報告がなされた。認証システム不参加のサプリメントの中には、国産であってもコンタミ事例が散見される。対策については今後の課題とする。

(2) ドーピング検査について

今後のドーピング検査のありかたについて議論がなされた。現在検査非該当大会の検査実施について、方法を検討することとなった。

(3) 第3回日本グランプリ大会

11月2日～3日、アクリエひめじ（兵庫県姫路市）で開催される第3回日本グランプリについて、実業団と教職員大会を同時開催する。伴い、グランプリ大会と実業団大会のWエントリーは可能とする経過の報告がなされた。

(4) 業務執行理事の自己の職務状況報告

古城資久会長（代表理事）及び、伊差川浩之副会長、三浦重則専務理事、高井隆義常務理事、実島可斉常務理事から、それぞれ自己の職務状況について報告がなされた。

(5) 次回理事会

令和6年6月1日（土）定時社員総会後に開催予定（WEB参加可）

以上をもって、電話会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく全議案の審議を終了したので、議長は22：30に閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、出席会長（代表理事）及び監事が次に署名又は記名押印する。

令和6年5月9日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

会 長
(代表理事)

古城資久



監 事

安原 徹

